



CLUB WEEKLY No.0054

よいことのために手を取りあおう

2026-27年度 RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ

母子の健康月間

例会日:2026年7月6日(令和8年7月6日)



会長 間嶋伸治

今日の例会

2026年7月6日

- 進行担当 青戸会員 12:30~
- 今日の歌 君が代 奉仕の理想
- 出席・ニコニコ 濱部会員
- 会長・幹事就任挨拶
- 第1回理事会 13:40~14:20

次回の例会

2026年7月27日

- オンライン例会 12:30~
- 進行担当 竹谷会員
- 今日の歌 四つのテスト
- 出席 小林会員
- 各委員長 挨拶

1年の振り返り及び次年度への抱負

【会長 間嶋伸治】

今年一年、皆様には多大なるご協力をいただき、おかげさまで平松年度を無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。

次年度は、「このロータリークラブに入会して本当に良かった」「素晴らしい仲間と出会えて良かった」と感じていただけるようなクラブ運営を目指してまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、私の後輩の宮西君が入会していただく予定です。溝畑先生からは手塚山ロータリークラブより移籍される方がお一人いらっしゃるかと伺っております。次年度のクラブ運営では、これまで以上に一歩踏み込み、対面での対話を大切にしながら、現場でどのような課題やご苦労があるのかをしっかりと伺い、それに応えられる活動を進めていきたいと考えています。

その一例として、大手前学園で実施している歯科検診があります。竹谷さんとは以前から、「単に検診を行うだけではなく、私たちクラブには歯科医師が5名いる強みを生かし、現場の先生方や保護者の皆様、看護師の皆様など、子どもたちに関わる方々のお困りごとを少しでも解決するお手伝いができないだろうか」という話をしてまいりました。

そのため、竹谷さんに事前アンケートの文案を作成していただきました。大変丁寧にまとめていただきましたので、ご紹介させていただきます。

「いつも大変お世話になっております。

当クラブの奉仕活動の一環として実施しております歯科医による歯科検診も、皆様のご協力のおかげで今年で3回目を迎えることができました。年1回の検診体制が定着してきましたことを、クラブ一同大変嬉しく思っております。

そこで、私たちは次のステップとして、検診時だけでなく「日常の口腔ケア（仕上げ磨きなど）において、現場のスタッフの皆様や保護者の方が困っていること」に対し、何かサポートができないかと考えております。つきましては、次回の検診をより有意義なものにするため、また今後の具体的な支援内容（例：お悩みへのフィードバック、ケアグッズの検討など）を模索するため、事前に以下のような点について園内や保護者の方のご意見を伺うことは可能でしょうか。



大阪上方ロータリークラブ

創立:2024年7月22日 例会:第1・3週目は対面・第4週目はオンライン

会長:間嶋 伸治
幹事:中島 勇人
会報資料担当:青戸 佳世

【例会場】〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-1-55 シェラトン都ホテル大阪
TEL:06-6773-1111 FAX:06-6773-3322
【事務局】〒579-8058 東大阪神田町 3-12 医療法人翔聖会 気付
TEL:080-2026-1803 Mail:osaka.kamigata.r.c@kind.ocn.ne.jp

- * 日頃の歯磨きや口腔ケアで、特に苦労されていること・困っていること
- * 「こういう情報やアドバイスが欲しい」といった専門医への質問
- * その他、ロータリークラブに期待するサポート（環境面など）

園の皆様や保護者の皆様のご負担にならない範囲で結構ですので、事前にご要望や現場のお声をお聞かせいただけますと幸いです。お忙しいところ恐縮ですが、一度ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。」

竹谷さんには、このように大変素晴らしい文案を作成していただきました。本当にありがとうございます。

先ほども申し上げましたが、子ども食堂への支援も同じ考え方だと思っています。昨年はお米を寄贈させていただきましたが、単に物品をお渡しするだけではなく、「食」を通じて、みんなで食事をする事の大切さや食育について、子どもたちに伝えていくことも重要ではないかと考えています。幼稚園や小学校など、小さい頃から食の大切さを実感してもらえるよう、私たちにできる支援をさらに充実させていきたいと思っています。

これからは、現場の皆様との対話をより大切にしながら、一步踏み込んだ形で地域に貢献できる活動を進めてまいりたいと考えております。私からは以上です。ありがとうございました。

1年の振り返り及び次年度への抱負

【国際奉仕委員長 溝畑 正信】



先ほど、間嶋次年度会長から「一步踏み込んだ活動」という方針が示されました。私も、その方針のもと、大阪上方ロータリークラブがさらに発展していけるよう、皆さんと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。本クラブは2024年に創立し、創立年度を「ホップ」、平松会長年度を「ステップ」とするならば、次年度はいよいよ「ジャンプ」の年です。さらなる飛躍を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。そして本日は、平松会長・久保幹事年度の最終例会です。お二人をはじめ、会員の皆様には一年間大変お疲れ様でした。今年度、私は2月にパキスタンを訪問いたしました。現在、グローバル補助金事業として、ポリオのハイリスク地域にある4校を対象に、トイレや衛生設備、手洗い場の整備を進めています。各校4か所ずつ、

合計16か所の設備を整備する工事が現在進行中で、今年中には完成する予定です。来年早々には現地を訪問し、完成状況を視察に行けると考えております。これもグローバル補助金事業の大きな成果の一つです。

また、今年度のクラブ表彰につきましては、クラブセントラルの目標を概ね達成できる見込みであり、クラブ表彰を受賞できるのではないかと期待しております。一方、個人表彰についても複数の部門で申請を行いました。クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕など4～5件申請いたしましたが、その中で、大手前学園における青少年奉仕活動が高く評価され、個人表彰を受けることとなりました。古川亜紀子会員が大手前整肢学園の歯科検診、それから検診からさらに発展して治療を受けるシステム作りが評価されたようで、先日の例会で表彰状をいただき、おそらく今年の地区大会でも表彰されると思います。そのほかにも、クラブ奉仕では音楽同好会や俳句同好会、グルメ会などの活動、社会奉仕では子ども食堂支援などについて申請をしましたが、残念ながら今回は受賞には至りませんでした。

しかし、先ほど間嶋次年度会長がお話しされたように、単に物品を寄贈するだけではなく、一步踏み込んだ支援を行い、クラブならではの特色ある奉仕活動へ発展させていくことが、今後の評価にもつながるのではないかと感じています。もちろん、表彰を受けることだけが目的ではありませんが、このような評価はクラブにとって大きな励みになりますので、今後も積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

次年度、私は国際奉仕委員長をお受けしてのですが、先日、台北で開催された国際大会には参加できませんでしたが、台湾の台北市東湖ロータリークラブとの交流を行っており、今後は姉妹クラブ締結も視野に入れながら国際交流を深めていきたいと考えております。また、来年の国際大会は、当初予定されていたドバイから、中東情勢の影響によりスペイン・バルセロナで開催されることになりました。6月中旬に約1週間の日程で開催されますので、ぜひ皆さんと一緒に参加できればと思っています。さらに、衛星ロータリークラブのスポンサークラブを務めることとなりました。この活動も今後の大きな取り組みになります。

現在、当クラブの会員数は24名ですが、次年度は新入会員に加え、帝塚山ロータリークラブから南さんが移籍される予定です。さらに衛星クラブとの連携も進むことで、40名規模へと発展していく大きな可能性があります。

これは次年度の間嶋会長年度における大きな成果につながると考え、クラブのさらなる発展に結び付けていただきたいと期待しております。皆様とともに次年度も力を合わせ、より魅力ある大阪上方ロータリークラブを築いてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

1年の振り返り及び次年度への抱負

【SAA 竹谷 美和】

【社会奉仕委員長 小林 友美子】

社会奉仕委員会の活動として、社会奉仕委員会とともに子ども食堂支援に携わらせていただきましたが、時間的な都合もあり、今年度はお米を配布する支援が中心となってしまいました。

その中で、子ども食堂のあり方や、運営されている皆様の思い、また八尾でのさまざまなお話を伺う機会がありましたので、それらを参考にしながら、次年度は実際に体も動かし、皆様とより深く関わりながら支援活動を進めていければと考えています。先ほども少しお話ししましたが、また、八尾ロータリークラブの田中ガバナー補佐様の子ども食堂の所で別室をご用意いただけることになりました。そこで、ミニコンサートのような催しを開催し、ケーキやお菓子などをお配りすることを予定しています。さらに、何かもう一つ企画を加えられたらと考えており、皆様にもご相談させていただきたいと思っています。例えば、会員の皆様にサンタクロース役をお願いしたり、子どもたちを対象に、お口の健康に関する簡単なお話や啓発活動などを行うことも一つの案ではないかと考えています。

こうした企画について、皆様からさまざまなアイデアやご意見をいただければ大変ありがたいと思います。もう一点ございます。八尾ガーデンロータリークラブでは、12月12日に八尾アリオで、本場フィンランドからサンタクロースを招いた子ども向けのイベントを開催される予定と伺っていて、そのイベントに、相乗りと言う形で子ども食堂を利用している子どもたちにも参加してもらい、プレゼントを受け取ってもらうような形で連携できればとも考えました。ただ、プレゼントの配布方法など、実際の運営面では課題もあり、まだ詳細までは詰め切れていません。

合同で実施するのがよいのか、それとも別の形で単独開催するのがよいのかも含め、今後さらに情報を集めながら検討していきたいと考えています。また次回の理事会でも、ぜひ皆様のご意見をお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。



句会だより

2026.06.16



故郷の父の声なき夏座敷
溝畑洋子

桑の実に指染められし朝の庭
市山純子

青梅雨や軒を伝ひて雨の糸
青戸佳世

館涼しジンバイ鮫に張り付く子
道木憲子

真っ白に歳時記閉じる頭痛かな
畠山 茂

御田植の舞ひ終へて去る舞ふ如く
溝畑正信



- ① 本日例会終了後、第1回理事会がございます。全員参加の理事会を目指しておりますので、理事役員のほか、会員の皆様もご参加を宜しくお願いいたします。
- ② 本日、19時より新旧会長幹事歓送迎会、及び衛星クラブ歓迎会を【洋食 ヨコオ】にて開催いたします。JR大阪環状線「福島」駅から徒歩5分です。ご参加の方はよろしくお願いいたします。
- ③ 次回7月20日は祝日休会ですのでご確認をお願いいたします。
- ④ 7月27日のZOOM例会は初めての衛星クラブとの合同例会になります。多数ご出席くださいますようお願いいたします。

事務総長による報告

2026年国際大会への事務総長による報告

事務総長 ジョン・ヒューコー

2025-26年度のロータリーを振り返る

ロータリー会員は今年度、「よいことのために手を取りあおう」という呼びかけに応え、より良い世界を築くために力を結集して取り組みました。会員が地元や世界に変化をもたらし、ロータリーへの認知を高めていく中で、ロータリーはより大きなインパクトをもたらし、新たな成長の機会を見出しています。

1. 会員基盤の成長：よりよい体験を創出

今年度、ロータリーは会員基盤の成長に努めるとともに、参加を促すクラブ体験を創り出すことを最優先し、その実現に向けた取り組みを支援しました。イタリアのグローバル・ルーツ・ロータリークラブ（第2101地区）をはじめ、数々のクラブが、会員の要望やニーズ（奉仕活動やメンタリングの機会、ハイブリッド形式の例会など）に応えることに力を注いでいます。ロータリーは、会員であることの価値を高めることにも引き続き尽力しています。

2. 奉仕：変化をもたらす

今年度、ロータリー会員はよいことのために手を取りあい、行動人であることを身をもって示しました。汚染物質を最大90%ろ過できるレインガーデンの設置（米国テキサス州）から、自殺リスクを察知して適切な介入を行うための1,300人以上を対象とした研修（リトアニア）まで、さまざまなロータリープロジェクトが持続可能な変化をもたらしています。

3. プログラム：持続可能な変化を生み出す

ロータリーの優先事項を反映したさまざまなプログラムを通じて、会員は力を合わせて世界によりよい変化を生み出しています。平和構築、若いリーダーへの支援、大規模プログラム補助金を通じた持続可能なインパクトの創出など、ロータリーは世界中の地域社会と協力しながら活動しています。

4. ロータリー財団：世界でよいことをしよう

ロータリー財団を通じて、寄せられた温かいご寄付は地元や世界の人びとを支える奉仕プロジェクトへと変わり、「よいこと」をする力が広がっています。

5. ロータリーの世界的活動：グローバルな存在感を維持

私たちは、ロータリーの活動を紹介し、世界中の人びとがロータリーに参加できるよう尽力しています。世界ポリオデー、ロータリー国際大会といった年次行事など、さまざまな機会に会員の体験談を世界中に紹介することで、ロータリーは世界中の人びとにインスピレーションを与え続けています。

6. 公共イメージ：ロータリーへの認知と理解を促す

今年度、私たちはロータリーのブランド力を高め、世界に向けて活動を紹介することにも尽力しました。ブランドリソースセンターを活用してストーリーを発信する会員の取り組みや、新たなSNSチャンネルの立ち上げなどを通じて、人びとのロータリーへの理解を深め、入会への関心を高めています。

7. テクノロジー：よりよいユーザー体験の創出

ロータリーは、革新と新しいテクノロジーの導入に尽力しています。AIを活用してよりアクセシブルな資料を作成したり、入会候補者により良くつながるためのシステムを採用したりするなど、常にユーザー体験の向上に努めています。